

# 新刊案内

『 <b>潮と新</b> 』 いとう みく/著 講談社 T/イミ
『 <b>都会(まち)のトム&amp;ソーヤ</b> 』【16】【外伝16.5】 はやみね かおる/[著] 講談社 T/ハカ
『 <b>スガリさんの感想文はいつだって斜め上</b> 』【3】 平田 駒/著 河出書房新社 T/ヒコ
『 <b>ドーナツの歩道橋</b> 』 升井 純子/著 ポプラ社 T/マシ
『 <b>鬼滅の刃</b> 』【1】【2】 吾峠 呼世晴/[原]著 集英社 T/ヤア
『 <b>k. m. p. の、香港・マカオぐるぐる。</b> 』 K. m. p. /著フックデザイン 東京書籍 T292/ケエ
『 <b>有権者って誰?</b> 』 藪野 祐三/著 岩波書店 T314/ヤユ
『 <b>青春サフリ。自分を変えてくれる場所</b> 』 安藤 隆人/文 ポプラ社 T375/セイ
『 <b>博士の愛したジミな昆虫</b> 』 金子 修治/編著 岩波書店 T486/ハク
『 <b>魔法科高校の劣等生</b> 』【31】 佐島 勤/[著] KADOKAWA TB/サツ
『 <b>ソードアート・オンラインオルタナティブガンゲイル・オンライン</b> 』【10】 時雨沢 恵一/[著] KADOKAWA TB/シケ
『 <b>幽霊たちの不在証明</b> 』 朝永 理人/著 宝島社 TB/トリ



**ティーンズのココロ通信** 山口市立中央図書館 198号

令和2年 6月 1日 発行 〒753-0075 山口市中国町7-7

TEL: 083-901-1040 FAX: 083-901-1144

Eメール: info@lib-yama.jp



# 空



6月に入り、雨がたくさん降る季節になりました。季節の変わり目には、体調には十分に気を付けたいですね。

今月のココロ通信のテーマは【空】です。

【空】という言葉キーワードに、司書が様々な角度から本を集めてみました。

雨音をバックにゆっくりと読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。



### ●『宇宙を撮りたい、風船で。世界一小さい僕の宇宙開発』

岩谷 圭介／著 キノブックス T746／イケ

小さいころに手に持っていた風船が手から離れ空高く飛んでいき、小さくなっていくのを見て寂しい思いをしたことがある。その風船は宇宙までは行ってないかもしれないが、この本の風船は宇宙まで飛んで行き、写真を撮って戻ってくる。著者が風船で宇宙を撮ってみようと挑戦し、成功までのたくさんの失敗や様々な経験が載っている。宇宙は遠い存在だったのが読んでいくと宇宙を身近に感じ、挑戦することは大切なことだと思った。

(H. T)

### ●『フランバース屋敷の人びと2 雲のはて』

K・M・ペイトン 作 掛川 恭子 訳 岩波書店 TF／ヘキ

フランバース屋敷に住むラッセル家の人びとはみな乗馬を愛していますが、次男ウィルは開発途上の飛行機に惹かれています。揚力や推力を計算して設計図を描き、体を張って空を飛ぶ、黎明期の飛行機乗りの一人でした。クリスチナはいとこのウィルと駆け落ちのような形で屋敷を出て、町で暮らすおばさんのもとに身を寄せます。ウィルを見舞うかもしれない危険に脅え、乗馬に明け暮れた日々を恋しく思いながらも、クリスチナは空にかける彼の夢を見守りつづけます。

(H. W)

### ●『大人でも答えられない！宇宙のしつもん』

荒船 良孝／著 すばる舎 T440／アヨ

皆さんは宇宙について質問された時、答えることができますか？宇宙は本当に謎だらけで、今まで当たり前だと思っていた事も、考えれば考える程不思議に感じるのではないのでしょうか。

いつ宇宙は誕生したのか、宇宙人はいるのか、月や太陽はなぜ落ちてこないのか、など59の質問が載っています。質問の答えはもちろん詳しい解説もあり、質問の答え以外の知識を得ることも出来ます。誰に聞いたらいいのか分からない、けど知りたい！に分かりやすく丁寧に答えてくれる本です。

(S. E)

### ●『昆虫戯画びっくり雑学事典 えっ！おどろき、クスッと笑える』

丸山 宗利／著 じゅえき太郎／漫画 大泉書店 T486／マム

ミツバチが一生かかって集める蜜はどれくらいでしょうか？カブトムシは幼虫のときにたくさん食べないとどうなるのでしょうか？この本は昆虫ごとの見出しがユニークで、生態に驚いたりイラストにクスッと笑ったりしました。昆虫以外にもカエルやヘビの爬虫類、カタツムリなどの軟体類など、昔では「虫」と言われていた身近な生物についても書かれています。虫が苦手な人でもイラストで読みやすいと思いますので答えは読んで探してみてください。

(H. T)

### ●『10センチの空』

浅暮 三文／著 徳間書店 T／アミ

主人公の敏也は大学生。小学生のころ、友達に空を飛ぶ力を分けてもらい、10センチだけ浮かび上がることができるようになりました。しかし、当時のいきさつをどうしても思い出せません。卒業後の進路を考えはじめたとき、なぜかそのことが気にかかります。「大人になっても空を飛ぶことを忘れません」「空を飛ぶ仲間のことを忘れません」、そう約束したはずなのに。あの友達は誰だったのか、今どうしているのか。裏切ってしまった友達を探して、敏也はラジオ番組にこのことを投稿します。

(H. W)

### ●『空の中』

有川 浩／著 メディアワークス T／アヒ

200x年、原因不明の航空機死亡事故が立て続けに発生。

その事故で父親を亡くした高校生の瞬はある日、海でクラゲのような奇妙な生物を発見する。最初は気味悪がっていた瞬だったが、あるきっかけからその生き物に「フェイク」と名付けて世話をするようになった。父親を亡くして天涯孤独の身となった瞬は、その寂しさを埋めるかのようにフェイクを家族同然に可愛がるようになる。

フェイクの正体は一体何なのか。そして事故の真相は果たして…。

(S. E)